



第29回 富士見OKKOHの熱気!!



「笑顔と元気を富士見から」

第29回富士見OKKOHが、熱気に包まれたまま幕を閉じてから、早一月が経ちました。幸い天気にも恵まれ、富士見町の短い夏の日を、皆さんで熱く過ごしたことかと思えます。お祭り一日を通して、まったく雨が降らなかったのは数年ぶりのことでした。まさに、この町を包んだ皆さんの「熱気」が雨雲を吹き飛ばしたのでしょうか。

今年は前年から場所が変わり、コミュニティ・プラザ周辺をメイン会場に行われました。当初は、全体的に少し狭い印象もあり、実行委員会内でも心配されていました。しかし、参加してくださった皆さんのご協力もあり、大きな事故もなく無事に、そして盛大にお祭りが終了しました。初めての場所で、慣れない準備や作業、また、当日の運営で緊張していたスタッフの皆さんも、フィナーレの花火を見る頃には、「祭りをやり抜いた安堵感と充実感」に包まれていました。（どっと、疲れも出ていた様子ですが・・・）



お祭りにご協力、後援してくださった各団体、企業などの皆さま、
本当にありがとうございました。
また、来年の第30回富士見オッコーでお会いしましょう！
【富士見OKKOH実行委員会一同】



「初めての開催場所」と申し上げましたが、実はこの場所で過去に一度、開催する計画があったことをご存じだったでしょうか？6年前の第23回富士見オッコーは、ここコミュニティ・プラザ周辺で計画されていました。当時の商工会青年部の皆さんが、準備万端に整えながらも諸事情により開催1週間前、中止を決断した「幻のオッコー祭り」が今年、時を経て現実のものになったのです。当時のスタッフの皆さんが、「どんな思いで今回の祭りを見ていたのか」そのことを考えると、このオッコー祭りが富士見町にとって、いかに「大切な宝物」であるかを改めて感じます。

さて、その富士見オッコーも来年で第30回を迎えます。その記念すべき年に向けて「自分たちにどんなことができるか、そして、どんな形で皆さんに元気を与えられるか」、商工会青年部の皆さんは、すでに動き出しています。楽しみに待っていてください！

「笑顔と元気を富士見から」。昨年と同じテーマで挑んだ、商工会青年部の皆さん。少しでも震災復興に役立てたいと、東北地方の物産販売や被災地の特産品が当たる抽選会も行いました。

今年の夏、「富士見町」を、そして「東北地方」を元気にできた「富士見OKKOH」でした。

